

## 令和5年度 第1回河原地域振興会議議事概要

日 時 令和5年4月28日（金）15時30分～17時00分

場 所 河原町総合支所 大会議室

### 〔出席委員〕

竹田賢一、中村佳紀、林 昭男、奥谷仁美、楳原典子、下田和実、西谷美智子、坂本綾子、山下教幸、田村 稔、渡邊幸勇（順不同）

### 〔欠席委員〕

浅田義昌

### 〔事務局〕

九鬼支所長、武田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、岡本産業建設課長、浜部市民福祉課長、吉田地域振興課課長補佐

### 〔傍聴者〕

1名

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 辞令交付
- 3 あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 会長・副会長の互選
- 6 会長・副会長あいさつ
- 7 議 事
  - (1) 総合支所の体制について
  - (2) 総合支所当初予算について
  - (3) 地域振興会議開催スケジュールについて
  - (4) 委員提出案件について
- 8 その他
- 9 閉 会

### 議事概要

- 1 開 会
- 2 辞令交付
- 3 あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 会長・副会長の互選
- 6 会長・副会長あいさつ
- 7 議 事
  - (1) 総合支所の体制について

説明者：河原総合支所九鬼支所長

## (2) 総合支所当初予算について

説明者：河原総合支所武田副支所長、岡本産業建設課長、浜部市民福祉課長

(委員) 果樹対策とはどのような内容か。

(事務局) 草刈りに対する助成や果樹棚新設などです。

(委員) 梨生産がどんどん減ってきている。梨や柿の新たな生産者への対策がないとさらに減っていくだろう。

(委員) バス代替タクシー運賃補助金の予算は前年と比べてどうか。

(事務局) 多少上がりました。

(委員) 西郷便の一番遅い時刻の便が廃止になったのではないか。

(事務局) 便数は減っても燃料費の高騰など全体経費は増えており、昨年に比べて予算は増加しています。

(事務局) 利用者実績が極端に少ない便が減便対象となったようです。

(事務局) 日の丸本社に払うものです。

1日何便運航するかで距離が出せるので、それを積算したものであり、人数積算ではありません。

(委員) ふるさと散岐のバス運行にかかる人件費(運転手)は時給1300円となっている。タクシーの場合は完全雇用であり、さらに二種免許が必要で会社の利益を上乘せしないといけないので、当然経費は高くなるだろう。

地域交通では、二種免許は必要ない。西郷地区も地域交通が必要になるかもしれない。

(事務局) 将来的には考えていかななくてはなりません。

## (3) 地域振興会議開催スケジュールについて

説明者：吉田地域振興課課長補佐

(事務局) 補足ですが、残り6回のうちの5回は地域に出向いて会議を開催したいと思っています。

## (4) 委員提出案件について

(自治会加入率について)

(委員) 自治会加入率の減少が大きな問題である。まち協や人推協、民生委員についても同様だ。全国的にも課題である。地域の活性化はやはり人がキーだ。答えがすぐに出るものではないが、意識を高める方策をなにかしら考えていかななくてはならない。

(事務局) 自治連合会への加入率は鳥取市全体で62.4%(R4年5月現在)です。なお、河原地域全体では約80%です。行政の強制力はありませんので、自治会の協力が必要になってきますが、理解・協力を得やすい工夫や加入促進へのご協力をお願いしたいと思います。また、長瀬団地では、自治会が再結成されました。自治会は、いざというときに頼りになる人ができたり、コミュニケーションの場として有効です。そのための支援として、コミュニティ支援事業費補助金も活用していただきたいと思います。

(委員) 新しい団地が問題だ。袋河原などはどうなっているか。

- (事務局) 袋河原は不動産業者と提携し、自治会の加入をあらかじめ周知しているようです。
- (事務局) 市では、自治連へのお願い事項を削減する取り組みも行っています。
- (委員) 電話で済むものはいちいち市役所にきてもらわなくてよいように工夫すべき。
- (委員) いわゆる、あて職が多いと思う。別の団体の会合でも、結局同じようなメンバーで議論している実態がある。例えばコアな部分のメンバーは固定し、それ以外は様々なメンバーで構成してはどうか。私自身もいろいろな役員になっており、週に3回、会合がある場合もある。もう少しスリムにならないか。

(鮎の復活について)

- (委員) 八東川の片山橋の上手に魚場ができた。せっかく費用をかけて整備したので何とか鮎を復活させてほしいという思いだ。平成28年度頃からは、解禁日の6月1日になっても人がいない。すぐすぐには無理かもしれないが、鮎の復活を心から願っている。
- (委員) 天神川、日野川は、遡上が増えているとの新聞記事があった。
- (事務局) 鮎は、今年多少増えているようです。
- (事務局) 釣り人が増えるかはわかりませんが、テグスを産卵場に張って、鵜対策を行っています。この会議の場で本課への要望や提言を行うこともありえます。
- (委員) 国交省が千代川に立ち入れなくしてきているようだ。いざ水害が起きたときに責任が取れないためだそうだ。
- (委員) 和奈見はカワウがすごい量だ。
- (委員) 駆除は空気銃でやっているようだ。
- (事務局) 河川は基本禁漁区です。河川で散弾銃は危険です。

8 その他

9 閉 会